

## 第6回 奥多摩御前山

第1支部 榊乾商会  
幹事 乾 洋介  
平成13年5月20日(日)晴

5月と言えば、普段は家の中に閉じこもりがちの慢性運動不足の面々も、なにを思ったのか思わずやれ旅行だスポーツだと騒ぐほど絶好の屋外に出る季節です。

わが同好会もこの時期にハイキングの企画を立てたのですが、何と参加者が少ないではありませんか。会では硬派を自認する磯部幹事が計画した今回の山が、かなりきついものになるとの情報はどうも皆さんに洩れたようです。

第一回の大山登山の悪夢を思い出したのか、はたまた昨今の生命保険への不信から、山でいきだおれる位なら、畳の上で終わりたいと計算したかは定かではありませんが、とにかく少なかったのです。

山登りは全身運動であり、筋力、心肺機能、根性を鍛えるにはとても効果的です。教科書問題だ、靖国参拝だと干渉する輩が居るようなものなら一戦交えて海の藻屑とするぐらいの日本男児を作るにはうってつけの運動なのです。

まあそんなことはおいといて、今回の参加者は幹事の東邦化成の磯部さん、上田榊の原さんの奥様に私の3名です。俗に少数精鋭三人組と呼ばれています。

電車で青梅線の終点、奥多摩駅で集合した3人は、奥さんを車で送りにこられた原さんのご主人の車に乗せてもらい、登山口である奥多摩湖のほとりまで送っていただきました。

小河内ダムの上を登山口めがけて出発です。御前山は奥多摩の中でも標高が高く、今回のルートは頂上に最短で行けるルートです。その分傾斜もきつく、さすがの3人もパテ気味のなか3時間ほどで山頂に着きました。

比較的広い山頂にはなまいきにもベンチやテーブルまであり、のんびりとお茶を沸かしながらのランチタイムとしました。期待したカタクリの花は時期的にやや遅かったのですが、五月晴れの青い空の下、いっぱいのおゾンを吸い込んで話にも花が咲きました。

足並みの揃った3人は下りでもペースが早く、とうとうこの日は一人の登山者にも追い抜かれることのない一日でした。朝に集合した奥多摩駅に戻り、電車で御岳の駅まで戻っていつもの馴染みの蕎麦屋でくつろぎました。申すまでもなく原さんのご主人はここで合流です。

回を重ねて早いものでもう6回もハイキングを行うことができました。今回は参加者も少なかったのですが次回は楽な内容にしたいと思います。でもときどきはフェイントをかけて地獄の苦しみにも似たハイキングも面白いと思っています。幹事に騙されず、また自分にも自信を持って是非多くの参加をお待ち致します。